



新センター設立

産学官連携プロジェクト「サステナブルITSプロジェクト」及び2005年3月に池内克史教授をセンター長として発足した先進モビリティ連携研究センター（ITSセンター）では、情報通信、電気・電子、機械、土木、交通等の様々な分野の最先端の技術を融合し、安全かつ快適な高度道路交通システム（Intelligent Transport Systems: ITS）の研究開発を推進することを目的に、これまで多くの研究成果を収めてきました。これらの成果に基づき、今後より強力にITSの研究を推進していくため、2009年4月に当センターは正式に東京大学の研究センターに昇格し、桑原雅夫教授をセンター長とする「先進モビリティ研究センター」として新たなスタートを踏み出しました。

そして新センターの発足に伴い、去る6月11日にセンター設立記念シンポジウムが駒場リサーチキャンパスのコンベンションホールにて開催されました。

野城智也所長の挨拶と新センターの看板の除幕式から始まったシンポジウムでは、桑原センター長が「新センターのVisionとMission」と題してセンターの活動方針を発表しました。当該発表では、安全・安心な社会、環境にやさしい社会、楽しく健康な社会を築くには地域あるいは年齢によるモビリティ格差の是正が必要であり、モビリティを通してこのような社会の実現に貢献することが新センターの使命であると述べました。その使命に向けて行うべきMissionとして大きく、①大学の研究センターとしての研究開発活動、②ITS関係分野の基礎的素養を持つ人材の育成、③国際連携・地域連携を挙げました。

近年では大学自らも研究成果を社会還元するため、産学官民（民＝市民）との連携による社会のニーズの発見に努め、官民との共同研究を推進します。一方で大学には先端技術の開発・研究も求められており、センターメンバーの研究分野を、「時空を記す」（社会を取り巻く多様な三次元情報を過去・現在・未来にわたり時間的に記録する）、「時空を読む」（移動する物体間の空間と時間を読んで車両を制御する）、「時空を測る」（道路騒音などの環境を時間的・空間的に評価する）、「時空を活かす」（交通を経路という空間だけでなくトリップ時刻という時間の

軸上にも制御する）というキーワードで括り、研究を展開します。

ITS分野の人材育成は旧センターのときから「社会人のためのITS専門講座」をはじめ数種類の講座・講義を開講してきましたが、これらはITSのアプリケーションを主眼に置いたものでした。これらに加え、新センターでは基礎的知識の教育に着眼し、ITSの基礎を学ぶコースの創設を目指します。

国際連携・地域連携も旧センターのときから推進しており、これまでにInternational Symposium on ITS Researchの開催や十数か所に及ぶ海外の大学・研究機関と研究協力協定（MOU）の締結などによって国際連携を図ってきました。また、四国・九州・北海道などで東大ITSセンターセミナーを開催し、国内の地域連携を図ってきました。新センターもこの活動を引き継ぎ、アジアを含む世界への展開と研究・教育のためのネットワーク作りを進めます。

センターの活動方針の発表に続いては、トヨタ自動車株式会社技監の渡邊浩之氏による「持続可能なモビリティ社会の実現に向けて」と題した基調講演と、専任メンバーによる「先進ビークル研究の課題と期待」（須田義大教授）、「四次元仮想化都市空間に関する研究開発」（池内克史教授）、「次世代ITS展開の方向性とITSセンターの役割～高齢者向け車両の開発とSI型人材の育成～」(田中敏久客員教授)、「先進運転支援・交通制御に関する研究開発」（鈴木高宏准教授）、「ITSを活用した交通運用マネジメント」（田中伸治講師）と題した新センターの取り組みの発表がありました。また、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省からITSの専門家を迎えて、今後必要となるITS研究開発と人材育成をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。

当日は会場の収容人数を大きく上回る310名の参加者を数え、シンポジウムは大盛況となりました。また同時に新センターへの期待を強く感じる機会となりました。

最後に、当日ご来場くださいました皆様へ御礼を申し上げますとともに、今後も引き続き新センターへご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

TS センター メンバー紹介

専任メンバー Core Members

センター長 桑原 雅夫 (表紙写真右上から3番目)
生産技術研究所 教授

池内 克史 (表紙写真左上から2番目)
大学院情報学環 / 生産技術研究所 教授

塚本 修
生産技術研究所 客員教授
経済産業省 地域経済産業審議官



藤田 明博
生産技術研究所 客員教授
内閣府 政策統括官



中野 公彦 (表紙写真右下から2番目)
生産技術研究所 准教授

橋本 秀紀 (表紙写真左下から2番目)
生産技術研究所 准教授

須田 義夫 (表紙写真右上から2番目)
生産技術研究所 教授

田中 敏久 (表紙写真左上から1番目)
生産技術研究所 客員教授

Edward CHUNG
生産技術研究所 客員教授
クイーンズランド工科大 教授



牧野 浩志
生産技術研究所 准教授



鈴木 高宏 (表紙写真右上から1番目)
大学院情報学環 / 生産技術研究所 准教授

坂本 慎一 (表紙写真左下から1番目)
生産技術研究所 准教授



専任メンバースタッフ

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 平沢 隆之 助教 | ⑥ 洪 性俊 助教 |
| ② 山口 大助 特任助教 | ⑦ 横山 栄 助教 |
| ③ 山邊 茂之 特任助教 | ⑧ 恵古 右子 事務補佐員 |
| ④ 影澤 政隆 助教 | ⑨ 宮園 あき子 事務補佐員 |
| ⑤ 小野 晋太郎 特任助教 | ⑩ 森本 紀代子 事務補佐員 |

学内協力メンバー Internal Support Members

大岡 龍三 生産技術研究所 教授	野城 智也 生産技術研究所 教授	西成 活裕 先端科学技術研究センター 教授
加藤 信介 生産技術研究所 教授	横井 秀俊 生産技術研究所 教授	原田 昇 工学系研究科 教授
岸 利治 生産技術研究所 教授	上條 俊介 生産技術研究所 准教授	森川 博之 先端科学技術研究センター 教授
柴崎 亮介 生産技術研究所 教授	佐藤 洋一 生産技術研究所 准教授	大和 裕幸 新領域創成科学研究科 教授
志村 努 生産技術研究所 教授	瀬崎 薫 生産技術研究所 准教授	羽藤 英二 工学系研究科 准教授
堀 洋一 生産技術研究所 教授	滝口 清昭 生産技術研究所 特任准教授	
目黒 公郎 生産技術研究所 教授	田中 伸治 生産技術研究所 講師	

一部兼務を含む (五十音順)

学外協力メンバー(学) External Support Members (Academia)

赤羽 弘和 千葉工業大学 教授	熊谷 靖彦 高知工科大学 教授	實吉 敬二 東京工業大学 准教授
朝倉 康夫 神戸大学 教授	高山 純一 金沢大学 教授	神野 雅文 愛媛大学 准教授
浅田 尚紀 広島市立大学 教授	永井 正夫 東京農工大学 教授	鈴木 桂輔 香川大学 准教授
伊丹 誠 東京理科大学 教授	中村 英樹 名古屋大学 教授	高橋 良至 東洋大学 准教授
内山 久雄 東京理科大学 教授	長谷川 孝明 埼玉大学 教授	寺部 慎太郎 東京理科大学 准教授
大口 敬 首都大学東京 教授	藤原 章正 広島大学 教授	浜岡 秀勝 秋田大学 准教授
大澤 裕 埼玉大学 教授	古川 修 芝浦工業大学 教授	深尾 隆則 神戸大学 准教授
奥富 正敏 東京工業大学 教授	溝上 章志 熊本大学 教授	道辻 洋平 茨城大学 准教授
小野口 一則 弘前大学 教授	森川 高行 名古屋大学 教授	吉井 稔雄 京都大学 准教授
景山 一郎 日本大学 教授	森田 緯之 日本大学 教授	菅沼 直樹 金沢大学 講師
苦瀬 博仁 東京海洋大学 教授	大前 学 慶應義塾大学 准教授	
久保田 尚 埼玉大学 教授	川崎 洋 埼玉大学 准教授	

(五十音順)

学外協力メンバー(官・産) External Support Members (Government / Industry)

渋谷 秀悦 警察庁 課長補佐	金澤 文彦 国土交通省 企画専門官
井出 真司 総務省 課長補佐	宮原 哲郎 国土交通省 課長補佐
縄田 俊之 経済産業省 課長補佐	岩佐 昌明 東京都建設局
赤津 洋介 日産自動車(株) 主管	足立 智之 西日本高速道路(株)
天野 肇 NPO法人 ITSジャパン 専務理事	大島 健志 首都高速道路(株)
小出 公平 NPO法人 ITSジャパン 常務理事	高橋 秀喜 中日本高速道路(株)
野口 好一 アイシン・エィ・ダブリュ(株) 専務取締役	幡鎌 俊昭 東日本高速道路(株)
林 秀美 (株)ゼンリンデータコム 取締役会長	村重 至康 (株)高速道路総合技術研究所

(2009.12.31 現在)

International Symposium on ITS Research 2009

2009年7月11日、タイ・バンコクのチュラロンコン大学で、チュラロンコン大学工学部と東大ITSセンターの共催によりInternational Symposium on ITS Research 2009が開催されました。これは同じ週にバンコクで開催されたITS Asia Pacific Forum 2009のSpecial Academic Sessionとして実施されたもので、2008年7月のシンガポールでの開催に続き2回目の試みとなります。

シンポジウムはTraffic Management、Vehicle Control、Image Processing and Communication、ITS Implementationの4部構成のプログラムにより行われ、タイ・日本双方の研究者から最新のITSに関する研究トピックについての紹介が行われました。チュラロンコン大学の学生を含む50名ほどの参加者があり、質疑応答の時間には参加者からお互いの国の状況についての質問なども交わされ、活発な意見交換・議論が行われました。



2009年 活発に開催された東京大学ITSセミナーシリーズNo.6~8

地域の協力のもと主催する「東大ITSセミナーシリーズ」が、2009年は3回開かれました。地域のニーズに即したITSの普及・促進と交流を目的に意見交換を行うもので、前身センター時代から通算して8回を数えました。

第6回は、熊本大学・熊本県・国土交通省国土技術政策総合研究所(国総研)の協力のもと6月に熊本市で開催しました。第7回は、柏市・国総研・柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)・東京大学新領域創成科学研究科の協力のもと7月に柏市で開催しました。第8回は、宮城大学・秋田大学・宮城県・国土交通省東北地方整備局・国総研・NPO法人青森ITSクラブの協力のもと9月に仙台市で開催し、各回100名超の参加者を集めました。

第6回:2009年6月2日(火) 熊本大学工学部百周年記念館

敬称略

第I部 「東大ITSセンターの取り組み」 桑原雅夫、須田義大、池内克史、鈴木高宏 第II部 「くまもと安心移動ナビプロジェクトについて」 増永博和 熊本県地域振興部情報企画課	「NECマイクロシステムの取り組み」 青山徹 NECマイクロシステム マイコン開発事業部 「簡易無線を活用した避難状況・安否確認システム」 柿本竜治 熊本大学政策創造研究教育センター 「実用化に向けたスマートウェイの取り組み」 畠中秀人 国土交通省国土技術政策総合研究所	第III部 「誰でも知っている! 実はそれもITS」 パネルディスカッション コーディネータ 溝上章志 熊本大学工学部 パネリスト 増永博和、柿本竜治、樹谷知彦((株)ゼンリン)、畠中秀人
--	--	---

第7回:2009年7月13日(月) 東京大学柏キャンパス柏図書館1Fメディアホール

敬称略

オプションプログラム(先着限定) 柏の葉キャンパスシティプロジェクトの紹介 第I部 技術講演 「オンデマンドバス」 大和裕幸 東京大学大学院新領域創成科学研究科 挨拶 本多晃 柏市長(当時) 野城智也 東京大学生産技術研究所長 大和裕幸 東京大学大学院新領域創成科学研究科長	第II部 技術講演 桑原雅夫、須田義大、池内克史 畠中秀人 第III部 基調講演 「いま電気自動車の周りで起きていること」 堀洋一 東京大学大学院新領域創成科学研究科	第IV部 「活力のある魅力的な街作りに貢献するモビリティデザイン」 パネルディスカッション コーディネータ 北沢猛 UDCKセンター パネリスト 石黒博(柏市)、上田俊郎(柏商工会議所)、 上野武(千葉大学)、畠中秀人、 河合淳也(三井不動産(株))、須田義大
--	--	---

第8回:2009年9月8日(火) 宮城大学大和キャンパス本部棟400講義室

敬称略

第I部 「東大ITSセンターの取り組み」 池内克史、中野公彦、田中伸治 第II部 「東北地方におけるITS研究の課題」 蒔苗耕司 宮城大学事業構想学部	「車両挙動に基づいた冬期路面情報提供の試み」 浜岡秀勝 秋田大学工学資源学部 「地域におけるITSの取り組み」 葛西章史 NPO法人青森ITSクラブ 「実用化に向けたスマートウェイの取り組み」 畠中秀人 国土交通省国土技術政策総合研究所	第III部 「地方で期待するITS」 パネルディスカッション コーディネータ 徳永幸之 宮城大学事業構想学部 パネリスト 寺沢直樹(国土交通省東北地方整備局)、 遠藤信哉(宮城県土木部)、葛西章史、畠中秀人、須田義大
--	---	--

QUTにてIntelligent Transport Systems Symposium を共催

2009年9月11日にオーストラリア・ブリスベンのクイーンズランド工科大学(QUT)にて Intelligent Transport Systems Symposium を共催しました。全体で10件の論文発表があり、そのうち4件はITSセンターからのもので、3件は日本から(桑原教授、須田教授、池内教授代理影沢助教)、1件は本シンポジウムをアレンジしたQUTのEdward Chung先生のものでした。また、残り6件のうち1件は、現在RMIT(王立メルボルン工科大学)の講師で、かつて本センターの学生メンバーだったShamas Bajwa先生のものでした。あらためて、本センターの活動の国際的な広がりを認識しました。なお、シンポジウム終了後に本センターとQUTとの間で研究協力協定の調印式が行われました。



駒場リサーチキャンパス公開2009

2009年5月29、30日の2日間、毎年恒例となっている駒場リサーチキャンパス公開が行われました。ITSセンターは各研究室での個別展示のほか、ピロティの共同ブースにおいて3台の計測実験用車両および専任・所内協力メンバーの研究紹介ポスターを、D棟地下・CCR棟地下では交通シミュレータ・ドライビングシミュレータのデモを行いました。また昨年に引き続き「未来の科学者のための駒場リサーチキャンパス公開」に協力し、中高生の団体見学を受け入れました。

公開題目

- 共通 サステナブルITSの展開
- 須田研 車両のダイナミクスと制御
- 池内研 ITSのための都市空間センシングと提示 ほか
- 桑原研 快適な道路交通社会の実現に向けて—Tomorrow's Technologies for Today—
- 鈴木研 非線形ロボティクス～超柔軟ロボットシステムからITSまで～
- 中野研 モビリティの制御と信号処理
- 橋本研 空間知能化:人と人工物と空間のより良い関係を目指したロボティクス
- 坂本研 音場の物理/数値シミュレーション



16th ITS World Congress Stockholm 2009 報告

2009年9月21日から25日まで、第16回ITS世界会議がストックホルムのInternational Fairs & Congress Centreで開かれました。同会議はITSに関連する大学・企業の研究者や技術者、政府関係者が集まり、最新の研究発表や展示を行ったり、国際的な協調・交流を進める場として毎年秋に開催されているものです。今回は2008年の世界金融危機以降初めての開催となり縮小が危ぶまれましたが、実際には前年並みの8,000人以上の参加があり、関心と期待の高さが伺われました。ITSセンター(専任メンバーの研究室)からは4件の発表を行い、海外関係者との議論を深めました。次回(2010年)は釜山で開催され、池内教授がCo-Chairを務めます。

お問い合わせ Contact



東京大学生産技術研究所
先進モビリティ研究センター(ITSセンター)
ADVANCED MOBILITY RESEARCH CENTER (ITS Center)
Institute of Industrial Science, The University of Tokyo

〒153-8505 東京都目黒区駒場4丁目6番1号
電話 03-5452-6565 FAX 03-5452-6800
4-6-1 Komaba, Meguro-ku, Tokyo JAPAN 153-8505
Tel: +81-3-5452-6565 Fax: +81-3-5452-6800



<http://www.its.iis.u-tokyo.ac.jp>

東大ITS 検索

